

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ステーションそらっく			
○保護者評価実施期間	2026年3月12日～2026年3月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象世帯数)	37世帯	(回答者数)	19世帯
○従業者評価実施期間	2026年3月12日～2026年3月23日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月28日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取り組み等	さらに充実を図るための取り組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育で1人1人に合わせた支援を提供。 保育士と作業療法士による複合的な支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間での情報共有と意見交換。 毎月の事業所全体の支援目標を設定し職員全体で取り組み、振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門性を高めるための研修。 ケース検討の頻度を増やす。 定期的な自己評価の実施。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者とのコミュニケーションの機会を多くとれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当者以外のスタッフも積極的にコミュニケーションを取る。 利用時以外にも必要に応じて面談の機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリング技術の向上を目的とした研修。
3	<ul style="list-style-type: none"> 園や関係機関と積極的に連携を取り、情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の方に、連携の意図を丁寧に伝える。 保護者や、園からの希望に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所への見学の提案を積極的に行う。 連携の中身の充実。(方向性や対応の統一)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信の不足。 年間計画の説明、避難訓練や研修の報告等。 	<ul style="list-style-type: none"> 発信の仕組みが十分ではなかった。 スタッフ間の情報共有の徹底不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 発信の仕組み作り。 月1回、スタッフ間での情報共有を行う。
2	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育の為、集団での様子を見る機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育の弱み。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団療育の時間を月に数回開催する。 連携の強化。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けの、学びの会が少ない。 保護者同士の交流の場が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間と人員の確保が難しい。 個別療育の為、交流の機会が設けにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の場を設ける。